

千葉大学医学部附属病院で冠動脈造影 CT を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年11月21日

放射線科

放射線科では、ニトログリセリン投与による Adamkiewicz 動脈描出能の検討に関する研究を行っており、以下に示す方の画像、診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年2月1日～2020年11月30日の間に腹部大動脈瘤治療前後に造影 CT を受け、治療前はニトログリセリンを使用された方

1. 研究課題名

「ニトログリセリン投与による Adamkiewicz 動脈の造影 CT における描出能の検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年12月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

脊髄を栄養する動脈 (Adamkiewicz 動脈) を造影 CT で同定することは、腹部大動脈瘤の治療における合併症 (Adamkiewicz 動脈の閉塞による下肢の麻痺等) を回避するために重要です。Adamkiewicz 動脈は非常に細い動脈なので通常の造影 CT では同定が難しいことがあります。そこで血管拡張効果のあるニトログリセリンを投与することで Adamkiewicz 動脈の描出能が向上するかを検討しています。2019年2月から2020年11月にかけて当院で腹部大動脈瘤治療の前後に撮像された造影 CT を検討しました。治療前の造影 CT では、心臓の血管 (冠動脈) を評価するためにニトログリセリンを投与して

います。その治療前画像と治療後にニトログリセリンを投与されずに撮像された画像で Adamkiewicz 動脈の見え方について比較検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年2月1日から2020年11月30日までの期間において、診療録に記載されている年齢、性別、体重、CT画像、腹部大動脈瘤に対して行った治療法などについて電子カルテを用いて情報を取得して解析します。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：放射線科 講師 横田 元

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院放射線科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院放射線科

医師 横田 元

043 (222) 7171 内線6300